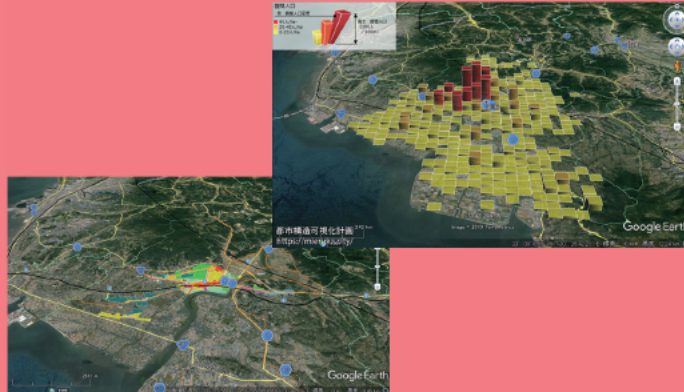


都市構造可視化の活用について ～立地適正化計画策定準備～



熊本県玉名市建設部都市整備課

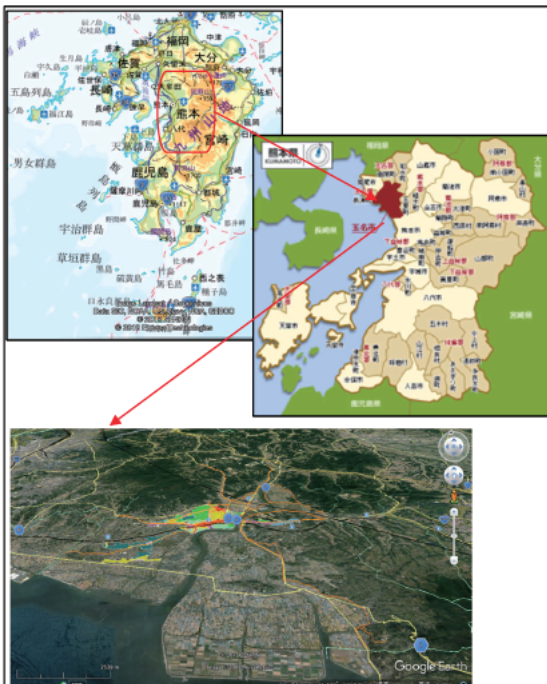
補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用

i-都市交流会議2020

1

1. 熊本県玉名市 概要

玉名市って、こんなところですよ！



沿革

本市は、菊池川の豊かな恵みとともに繁栄
(古墳時代～近代)→稲作中心
平成17年10月に、1市3町で合併
(玉名市、岱明町、横島町、天水町)

地勢

本市は熊本県北西部に位置し、南北の距離は約
17km、東西は約14.5km、市域の面積は約152km²

人口

総数66,239人(世帯数27,983世帯)
男性31,662人
女性34,577人 ※令和元年11月末日現在

鉄道

JR鹿児島本線(市内3駅)
JR九州新幹線(新玉名駅) 平成23年開業

道路

国道208号(片側1車線)
国道208号バイパス(片側1車線)

i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用

2

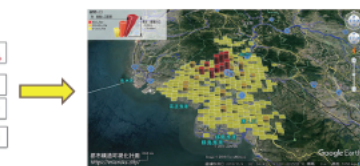
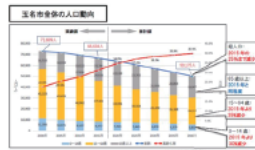
2.活用場面①

課内で活用



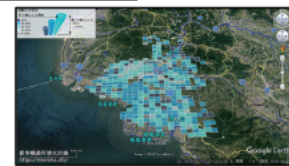
都市の概況

2次元→人口分布 可視化(3D化)



都市の密度

玉名市×高齢化の状況



人口分布の経年変化



都市の軸

通勤通学に公共交通を使う人の割合



i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用

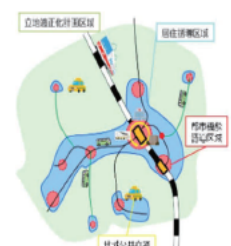
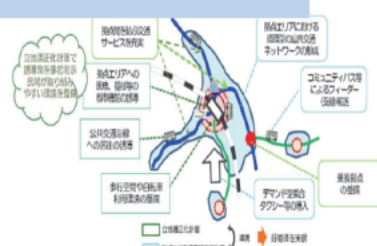
3

3.活用場面②

立適のプロポーザルの審査員に説明



立適概要、必要性



http://www.mlit.go.jp/en/toshi/city_plan/compactcity_network2.html

公共交通網形成との連携



都市の概況、密度、軸

- 少子高齢化。。。徐々に進行
- 将来高齢化進行とともに人口分布→散在
- 中心市街地の低密度化

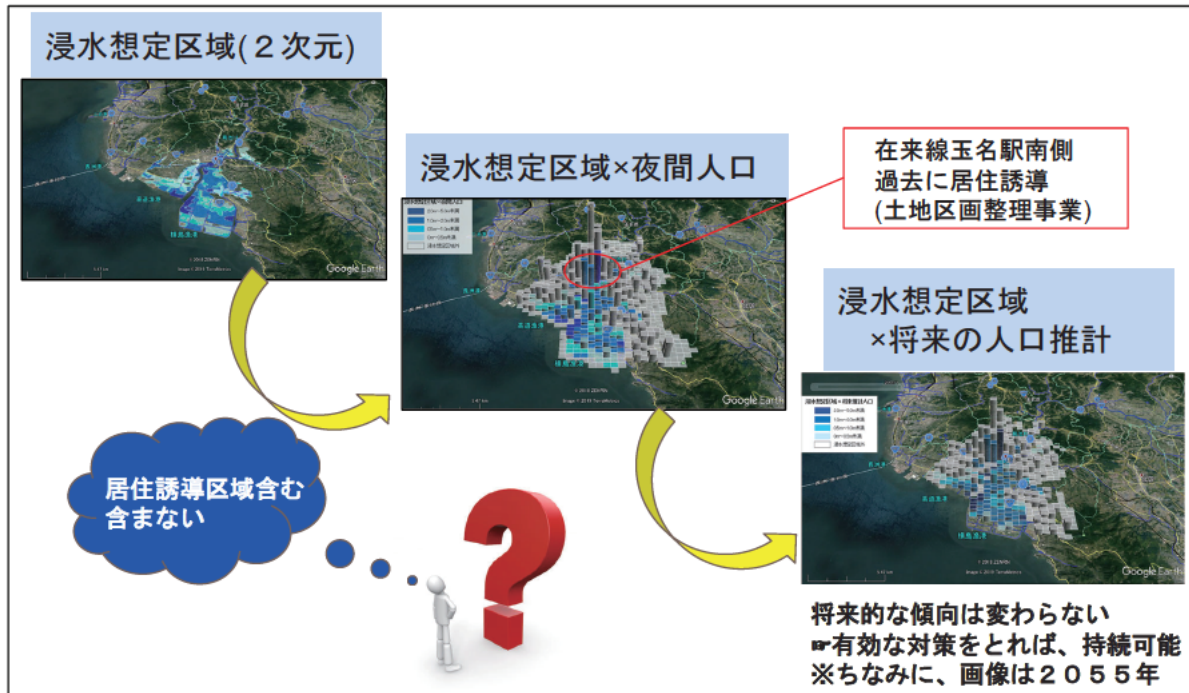
より具体的なイメージをビジュアルに訴え！☞プロポ審査

i-都市交流会議2020

4

4. 今後の活用に向けて①

居住誘導区域設定(浸水想定区域)



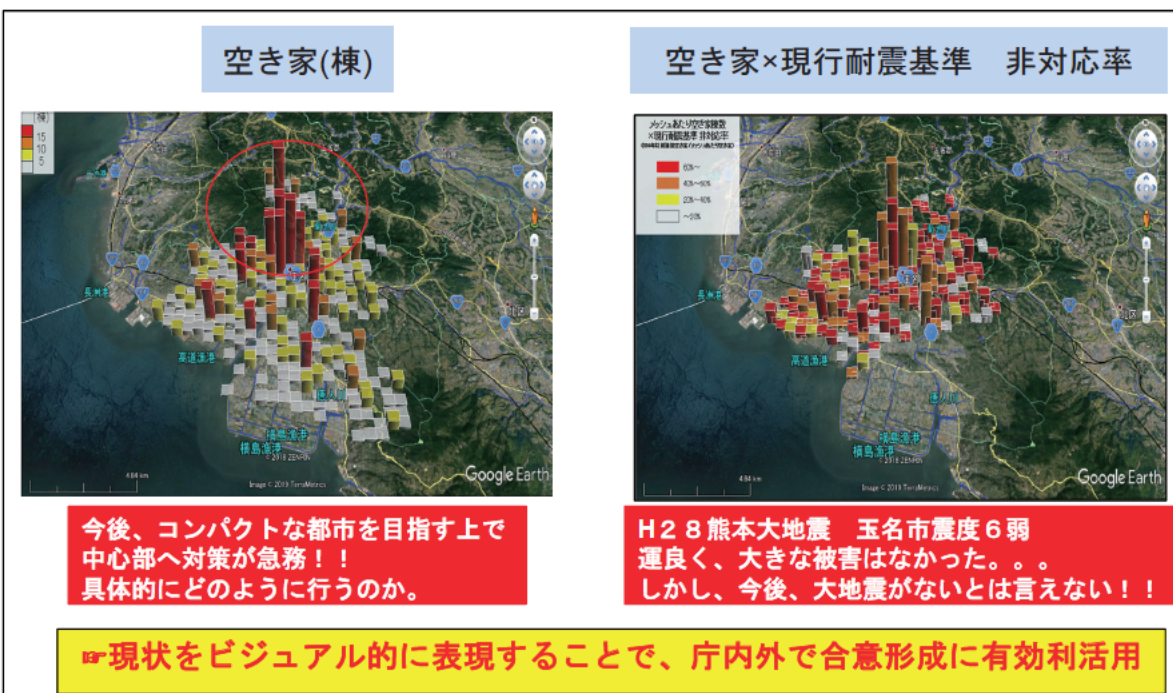
i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用

5

5. 今後の活用に向けて②

都市のスポンジ化(空き家)



i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用

6

6.まとめ

都市構造可視化の可能性

1. 立適目標値検証に可視化

例) 数値だけでなく、可視化

2. 他分野との融合

例) 道路ネットワークと道路橋(インフラメンテナンス分野)

3. 新しい技術との連携・融合

例) VR・ARとの連携(短期)

例) AI、IoTとの融合(中長期)

最後に、多様な主体とのコミュニケーション(web会議) 有効

熊本県玉名市

都市の紹介

